

農山漁村地域整備計画における事後評価

■ 計画の概要

整備計画名	安全・安心な食料供給基地「にいがた」整備計画	計画策定主体	新潟県
対象市町村	新潟市 ほか24市町村	計画の期間	平成22年度～平成26年度
計画の目標	安全・安心な食料供給基地「にいがた」を目指すため、農業基盤条件の整備を行い、優良農地を維持保全する		

■ 事後評価

対 象	地区数	全体事業費 (千円) (上段:計画 下段:実績)	主な事業内容	目標値の実現状況		
				目標値 (ha)	実績値 (ha)	達成 状況
農地集積を図る事業	131	(60,246,357) 59,308,349	区画整理、暗渠排水、高度化支援、調査計画	14,046	12,782	91%
用水の安定供給や排水条件の確保を図る事業	96	(21,133,841) 16,350,927	用水路工、排水路工、道路工、補修工、実施計画、機能保全計画等	43,441	35,240	81%
農地の災害を未然に防止する事業	64	(25,020,536) 23,951,495	用水路工、排水路工、排水機場工、ため池工、頭首工、土留工、実施計画等	27,537	25,341	92%
農道の整備を行い通作条件を改善する事業	13	(4,059,980) 3,866,038	道路工	395	224	57%
計	304	(110,460,714) 103,476,809		85,419	73,587	86%
進捗状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・延べ169地区について計画どおり事業が完了。 ・残りの地区についても目標達成に向けて事業を進めている。 						
事業効果の発現状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理や暗渠排水などのハード整備や、担い手支援などのソフト事業を実施したことにより、12,782haの優良農地が維持保全された。 ・かんがい排水施設の整備や農業水利施設の長寿命化対策を行うことにより、35,240haの農地に対して用水の安定供給や良好な排水状況の確保が図られた。 ・ため池の改修や排水機場の整備等により、25,341haの農地について防災対策が図られた。 ・農道の整備により、224haの農地について、ほ場間やほ場と集出荷施設を結ぶ農道網の整備が図られた。 						
目標値の実現状況						
<p>延べ85,419haの取組目標面積に対して、86%に相当する面積で農業基盤条件の整備などに取り組むことにより、優良農地の維持保全がなされており、概ね計画の目標は達成された。</p> <p>また、農山漁村地域整備金事業の実施が、整備済み農地の農地集積率の上昇(県全体で72%から88%と16ポイント上昇)や、経営体の経営面積に占める優良農地の割合の上昇(県全体で67%から79%と12ポイント上昇)に寄与した。</p>						
今後の方針						
引き続き優良農地を維持保全するために、計画期間を平成27年度～平成31年度とする農山漁村地域整備計画(2期)により、県、関係市町村、土地改良区などで円滑な事業執行の体制を取りながら、農業基盤条件の整備を進める。						

※事業費には農山漁村地域整備交付金以外の事業費も含んでいる